

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年12月12日
作成 高齢者支援センター	町田1
作成者	齋藤美和子

1.開催日時	2022年 11月28日	月	19:00	～	20:30
2.会場	オンライン				
3.主催センター	町田1 . 町田2 . 町田3				
4.参加人数	27名				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 9人 <input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人				
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 12人 (うち、医師 1人) <input type="checkbox"/> 介護事業者 2人				
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人 <input type="checkbox"/> 老人会 人 <input type="checkbox"/> 住民 人				
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人 <input type="checkbox"/> 警察 人 <input type="checkbox"/> 行政 3人				
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
6.開催テーマ	今取り組むべきフレイル予防について考える「身近な人にフレイルを伝えていこう」				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する外出自粛とその長期化、また、感染症への心配・不安による地域活動の縮小等により、フレイル進行が懸念される。社会活動が回復しつつある今、フレイル予防の啓発を強化する必要がある</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>2020年2月～新型コロナウイルス感染症流行に伴い、引きこもりがちな生活・社会活動の縮小・地域交流の場の消失し、高齢者のフレイル進行が懸念される状況が続いている。コロナ感染以前からあった課題だが、感染流行を経てより、その重要性が高まっている。感染対策を行いつつ、高齢者自らがフレイル予防に取り組める地域作りが必要である。</p>				
8.会議の内容	<p>①高齢者自身が簡易にフレイルリスクをチェックでき、フレイル予防の大切さを伝えるためのツールとして、町田圏域版フレイル予防リーフレットを作成、最終稿を確認する。HEPOPのフローチャートから自身に必要な取り組みを知り、運動・口腔・栄養の各分野からのアドバイスを掲載した。町トレ・ロトレなど町田市独自の取り組みも紹介できるものとした。今後国立長寿医療研究センターの最終確認を経て試用を開始する。</p> <p>②専門職がフレイルリスクのある高齢者を発見し、フレイル予防の大切さを伝えることができ、その高齢者に必要な取り組みが紹介でき繋げることを目標とした拡大会議開催を計画する。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>①作成したフレイル予防啓発リーフレットの活用方法について検討が必要である。業務で接するフレイルリスクの恐れがありそうな高齢者に対し、専門職がリーフレットを配布、説明を行っていくことを想定しているため、次回の拡大会議においてリーフレット作成に至る経緯や目的、使用方法を伝え活用してもらえたいことを目指していく。</p> <p>②フレイルに対する基本的な概念・知識を専門職間で確認できる機会を設ける。</p> <p>③すでに地域で実施されているフレイル予防の取り組みについてアンケートを行う。集計結果を次回の拡大会議で報告し、良い取り組みについては共有を図っていく。</p>				